



第16回 長崎大学病院 ICLSコース



平成29年9月16日(土)開催

主催:長崎シミュレーション教育研究会
共催:長崎大学病院 外来・救急医療教育室
シミュレーションセンター
救命救急センター
協力:日本光電九州株式会社

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。身につける行動の目標は以下の通りです。

- 蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- BLS(一次救命処置)に習熟する
- AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- 心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- 除細動の適応を判断できる
- 電気ショックを安全かつ確実に行なうことができる
- 状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- 気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- 状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- 治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生18名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。
また、スタッフ(コースディレクター2名、インストラクター8名、アシスタントインストラクター4名)計14名で指導を行い、3ブースを問題なく運営した。
また、スタッフは医師だけでなく、看護師、救命士、とコメディカルからの参加もあった。

※スタッフ詳細はP.4



<実施内容>

| | |
|------|--------------------------|
| 開催日時 | 平成29年9月16日(土) 9:20~17:00 |
| 受講者数 | 18名 |
| 対 象 | 初期研修医 17名、医師 1名 |
| 場 所 | 長崎大学病院 シミュレーションセンター |

<スケジュール>

| | | グループA | グループ(B) | グループ(C) |
|-------------|------|-----------------------|-----------|-----------|
| 09:00~09:20 | 0:20 | 受 付 | | |
| 09:20~09:30 | 0:10 | オリエンテーション | | |
| 09:30~10:05 | 0:35 | BLS+AED シミュレーション室1 | | |
| 10:05~10:15 | 0:10 | 休憩・移動 | | |
| 10:15~11:15 | 1:00 | モニター | 気道管理 | |
| 11:15~11:25 | 0:10 | 休憩・移動 | | |
| 11:25~12:25 | 1:00 | 気道管理 | モニター | |
| 12:25~13:15 | 0:50 | 昼 食 | | |
| 13:15~13:20 | 0:05 | BLS・ALSデモンストレーション | | |
| 13:20~14:30 | 1:10 | チーム蘇生 | チーム蘇生 | チーム蘇生 |
| | | VF/VT | VF/VT | VF/VT |
| 14:30~14:40 | 0:10 | 休憩・移動 | | |
| 14:40~15:25 | 0:45 | non VF/VT | non VF/VT | non VF/VT |
| 15:25~15:40 | 0:15 | 休 憩 | | |
| 15:40~16:40 | 1:00 | メガコード | メガコード | メガコード |
| 16:40~17:00 | 0:20 | 終了式・修了証授与式 | | |

○午前○

BLS @シミュ室1:A @シミュ室2:BC

| | |
|----------|--------|
| A:①柴田、井山 | ②高山、湯川 |
| B:①松本、百木 | ②石本、本田 |
| C:①小森、中島 | ②田下、横山 |

気道管理 @シミュ室1

| |
|-------------|
| 1:小森悠二、横山誠 |
| 2:石本裕士、井山慶大 |
| 3:高山隼人、本田智治 |

モニター・除細動 @シミュ室1:1 @シミュ室3:2・3

| |
|--------------|
| 1:柴田英貴、百木真吾 |
| 2:田下博、中島章太 |
| 3:松本直也、湯川恵美子 |

○午後○

シミュレーション室1

| |
|---------------------|
| 柴田英貴、横山誠、本田智治、湯川恵美子 |
|---------------------|

シミュレーション室2

| |
|--------------------|
| 石本裕士、松本直也、田下博、百木真吾 |
|--------------------|

シミュレーション室3

| |
|---------------------|
| 高山隼人、井山慶大、小森悠二、中島章太 |
|---------------------|

◆アンケート◆ 受講者の声

- ・BLS、ALSの流れを全く理解できなかったが、何か起こった時に自らチームの一員となって行動したいと思った。
- ・それぞれの役割の重要性が分かり、小枝氏とチームワーク、各人の気付きの共有等が大事なことが分かりました。本番では、非常に動ようと思うので、練習が大事だという事が分かりました。
- ・急変時の初期対応が出来るようになったと思います。
- ・はっきりとした声で指示を出せるようになったと思う。
- ・心停止した時の流れが分かって、次から実臨床で行動できそう。
- ・除細動器を使えるか自信がなかったので、こうして心電図波形に応じて判断するトレーニングが出来て、少しは自信が付いたと思う。
- ・考えながら行動に移すことの難しさが分かった。シミュレーションすることの重要さが分かった。
- ・受ける前よりもスムーズに行動できるようになったと思う。
- ・救命センターの研修などで少し学習していたつもりであったが、やはり忘れていた内容が多かった。4月にならった内容の復習も出来て良かった。
- ・少しだけ自信をもってハリーコールに対して走ろうと思いました。
- ・以前運ばれてきたCPAで自分が何も理解してなかったことが分かった。次は、適切に動けるように参加して良かったと思います。
- ・変わったと思います。
- ・流れは分かったので、多少の役には立てると思う。もっと練習が必要。
- ・チームワークの重要性を感じました。
- ・リーダーをしながらのD/Dを考えるというより現場よりの施行に近づけた気がする。
- ・少しだけ自信が付きました。2
- ・昔のイベントがフラッシュバックした。

◆アンケート◆ スタッフの声

1) 受講者の態度・意欲はどうだったか？

- ・積極的でした。2
- ・みんな熱心に取り組んでいたと思います。
- ・極めて良好でした。3
- ・非常によかった。4
- ・みなさん熱心に取り組んでいました。
- ・意欲があり楽しかった。3

2) 予備知識（予習含む）はどうだったか？

- ・fair.
- ・知識も十分だった。
- ・予習してきていたようです。
- ・まあまあだと思いました。
- ・良く勉強していたようにみえた。4
- ・個人差があると思います。
- ・予備知識に差はなかったが、概ね予習してきていた。
- ・かなり勉強していたと思われる。2
- ・毎回のことですが、麻酔科・救命をローテートした人が強い印象です。
- ・すごく勉強している人が多い。

3) ディレクター、インストラクター、アシスタント、チューターの指導はどうだったか？

- ・予習をしっかりしており、知識が豊富でした。
- ・エネルギーがあって、とても良かったです。
- ・学ぶこともたくさんあり、次回のブースに生かしたい。
- ・知識や指導法など参考になりました。
- ・レベルの高いスタッフ陣容だったと思います。
- ・インタラクティブに指導を工夫していました。
- ・チューターをつくれるとよいかもですね。
- ・皆さん雰囲気よくやっていました。
- ・とてもやりやすく感じた。定期的にまわってきてくれたので心強かった。

4) 今後について、ひとこと

- ・楽しかったですし、今後も続けていってください！2
- ・間隔を空けずにまたお手伝いさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。
- ・ぜひとも継続して欲しい。2
- ・是非飲み会を!!
- ・今後も参加したい。これからも頑張ります！引き続き、よろしくお願い致します。2

●改善点●

- ・チューターをつくれるとよいかも
- ・最後のチェックシートがあらかじめあれば
- ・人形の準備に手間取りました。

準備する資機材(3ブース)

| 資機材名 | 必要数 | 備考 |
|-----------------|-----|-----------------|
| ALSシミュレータ、操作用PC | 3 | |
| レサシアン | 6 | |
| バックバルブマスク | 6 | |
| AEDトレーナー | 4 | フィリップス |
| 気道管理トレーナー | 3 | |
| モニター付き除細動器 | 3 | 単相性(予備) 1 二相性 2 |
| 気道管理ボックス | 3 | 各ブースに1箱ずつ |
| 注射器10ml | | |
| バイトブロック | | |
| 吸引チューブ | | |
| 口腔エアウエイ | | |
| 経鼻エアウエイ | | |
| 聴診器 | | |
| ポケットマスク | | |
| 喉頭鏡ブレード(4.0) | | |
| 喉頭鏡柄 | | |
| チューブ固定具 | | |
| 酸素マスク | | |
| 酸素カニュラ | | |
| 挿管チューブ | | |
| スタイレット | | |
| CO2チェッカー | | |
| テープ | | |
| 点滴 | 2 | 各ブースに1つずつ |
| 点滴スタンド | 3 | 各ブースに1つずつ |
| ワゴン | 3 | |
| 聴診器 | 3 | |
| アルコール綿 | 多目 | |
| ホワイトボード | 4 | |
| ホワイトボードマーカー4色 | 12 | |
| ストップウォッチ | 6 | |
| メトロノーム | 2 | |
| 延長コード | 4 | |



長崎大学病院
外来・救急医療教育室
地域医療支援センター
シミュレーションセンター
〒852-8501
長崎市坂本1丁目7番1号
電話 (095) 819-7346
FAX (095) 819-7379